

藤枝・図書館友の会ニュース

<第20号・2014年9月発行>

2面／市立図書館の充実を願う要望書 3面／岡部おはなしの会紹介、遠藤文庫の取り扱い
4面／ブックトーク、第22回静岡県図書館大会案内

“第6回本のリサイクル市・ファイナル”を開きます！

時／2014年10月19日（日）10時～16時

所／Bivi 藤枝・1階 イベント広場

市民の皆さまから提供していただいた本・絵本などを安価で販売、売上金を市立図書館へ新刊書籍購入資金として寄贈します。例年、開店時刻と同時にたくさんの方が来店されます。掘り出し物がきっと見つかります。どうぞ、お出かけくださるようご案内します。

読み終えた本を提供してください！

リサイクル市で販売します。下記のように受付します。ご協力よろしくお願い致します。

なお、破損本・汚れた本はご遠慮ください。

受付期間／9月27日（土）～10月5日（日）

時間・10時～16時

（9月29日は休館日です）

受付場所／市立駅南図書館・朗読室

※多量の場合、Bivi 駐車場からの運搬をお手伝いします。朗読室で待機する友の会担当者に声をかけてください。



リサイクル市の賑わい風景

< 記念講演は児童文学者・草谷桂子氏 >

2015年3月8日（日）開催の「友の会総会記念講演」講師について、8/24 開いた運営委員会で草谷氏へ依頼することを決め、このほど、同氏から快諾を得ました。どうぞ、ご期待下さい。

演題「絵本は語る～図書館の魅力・本の魅力～」(仮題)



<草谷氏のプロフィール>

家庭文庫「巴文庫」を主宰して34年。日本児童文学者協会、童話創作グループ「かしの木」所属。主な著作に「白いブラウスの秘密」「青い目のお客さん」（偕成社）、「さびしい時間のとなり」（ポプラ社）、「こどもと大人の絵本の時間」（学陽書房）、「絵本で楽しむ孫育て」（大月書店）、「3・11を心に刻むブックガイド」「絵本は語る・はじまり図書館から」（子どもの未来社）、絵本に「プレゼントはたからもの」「おきゃくさんはいませんか？」「ぼくはよわむし？」（大月書店）など。

図書館づくりの市民運動の分野でも指導的な役割を果し、静岡県中央図書館協議会委員を務め、現在、静岡県図書館交流会実行委員、静岡図書館友の会運営委員を務める。

市立図書館の充実を願い北村市長及び成岡図書課長へ要望書を提出

今年は市政60周年の節目の年。市の文化政策「教育日本一」施策の重要な一環である図書館が更なる充実・発展することを願い9月、下記内容の要望書を提出し、懇談の場で見解を示すよう求めました。

友の会の今年度活動方針に基づく取り組みの一つです。

会員の皆さまにおかれては、要望書に付け加える事項やご意見・要望等をご指摘いただくようお願い致します。(事務局あて電話、ファクスで)

近々、懇談を予定しますが、懇談結果については会報でお知らせします。

(今年、3つの図書館を統括する部署として教委事務局に図書課長のポストが設けられました)



■北村市長あて要望書・要旨

1. 市の文化政策、「教育日本一」施策の一環として図書館をどう位置付け展開していくのか。
市立図書館、学校図書館(特に本年6月学校図書館法改正に伴う施策)、公民館図書室等の更なる充実のための施策をどう進めていくのか。現在の状況と今後の改善点は。
2. 図書館職員に司書有資格者を配置する等、人事の改善を図る必要があると考える。
 - ① 市立図書館独自の人事採用の追究(特に館長は司書資格を所有する人を採用する等の工夫)
 - ② 正規職員の比率を増やすこと。同時に司書資格を持つ専門職員の比率を上げること。
 - ③ 非正規、臨時職員の期間(現在5年)の延長
3. 市図書館協議会の一層の充実を図るための見解
 - ① 協議委員の公募制の導入
 - ② 協議会の内容の充実
4. 市立図書館における地震対策の強化策についての見解
5. 一般会計に占める図書館関係費用の在り方についての見解
 - ① 最低1%程度の確保(人件費を含む)が必要と思うがどうか。
 - ② 図書館整備基金の今後の活用施策。図書購入費の一定水準の確保の必要性
 - ③ 駅南図書館10周年(2019年)に向けて、リニューアルを検討してはどうか。
6. その他 ①図書館友の会との協働関係推進 ②ボランティアの位置づけ等

■成岡図書課長あて要望書・要旨

1. 市立図書館の環境整備、一層の充実を図るため、どのような施策を進めていくのか。
2. 平成25年度藤枝市図書館事業の現状は。
また市立図書館コンセプト「快適、出会い、進歩」の観点から今後の課題は何か。
 - ① お話室を含めた児童図書の利用状況とお話室の装飾等の工夫
 - ② 対面朗読サービスの状況
 - ③ 集会室の利用状況
 - ④ 特化したビジネス支援サービス利用の状況
 - ⑤ 外国人の利用状況
 - ⑥ 障がい児、障がい者の利用状況
 - ⑦ アンケート等を通しての市民からの要望内容、その対応
3. 年間の実利用者数を増やすための更なる工夫が必要と思うがどうか。
 - ① 地域との連携を強める企画
 - ② 図書館としてのイベントの企画(友の会との共同の企画も含む)
4. 「藤枝・図書館友の会」は市の図書館行政及び図書館職員との協働・協力関係を一層深めたいと願っているが、貴職の見解は。

「岡部おはなしの会」の活動を紹介します！

岡部おはなしの会・黒羽和恵（友の会会員）



大旅館柏屋「なまこ壁ギャラリー」
で行った読み聞かせの様子



私たち岡部おはなしの会は、図書館ボランティアとして岡部図書館や小・中学校での読み聞かせ、介護施設や地域の「いきいきサロン」等でのお話会を行っています。

また、大きなイベントとして夏の柏屋おはなし会、冬のクリスマス読書会があります。

今回は「柏屋おはなし会」について報告します。

このおはなし会は、毎年8月お盆の時期に岡部在住の製織作家・松谷和子さんの製織展（ギャラリーなまこ壁で開催）の中で時間を頂き行っています。7回目になる今年は8月8日から4日間、会員が担当日を企画し実施しました。日替わりの内容は基本的に地域にまつわる話を演じます。目的は岡部の文化の発信、岡部を知ろう！知らせよう！との思いで企画し、練習の成果を発表しました。年々聴衆も増え（今年の来客数は155人）、嬉しい限りです。

会の活動は昨年実績で143回、実働会員が減少している現状もありますが、おはなし会を待っている子どもたち、お年寄りの方たちの笑顔を糧に、今年も活動を進めています。

「遠藤文庫」の扱いについて駅南図書館と協議

いわゆる「遠藤文庫」について、利用が少ないこと・スペース有効活用等の理由から整理したい、との申し入れが駅南図書館からあり、6/21 開いた友の会運委で対応を相談、この程、図書館と協議し次のように確認しました。

1. 遠藤氏の業績と文庫のいわれを記したパネル（写真下の上段）は展示継続する。
（会としては氏が果たした駅南図書館実現に至る市民運動での大きな役割を後世に伝えたい。）
2. 閉架書庫に保管している遠藤文庫の書籍のうち、図書館が必要とするものについては図書分類目録に従い活用、他のものは友の会と協議のうえ、処理する。
3. 前記処理に際しては事前に図書館から友の会へ通知する。

“遠藤文庫”とは？

市内在住の故遠藤正氏は1万冊に近い書物を残し、2008年逝去された。2009年2月オープンの駅南図書館は蔵書が少ない時期だったこともあり、当時の館長ほか職員が遠藤宅へ赴き、貴重な本は頂きたいということで、書籍を駅南図書館車へ運び込んだ。オープン後、遠藤夫人（故人）と会員が半年以上の期間をかけ、3千余冊を分類、うち数十冊にていはラベル貼を行い一般書架へ展示し、他の書籍は閉架書庫に保管されてきた。

これを“遠藤文庫”と呼んできた。

氏は友の会の前身「藤枝に新しい図書館を創る会」結成に参画、新図書館建設を求める2万4千余筆の陳情署名の成功、新図書館を市の第4次総合計画に明記させることに尽力した「街づくり市民会議」委員として奮闘など、駅南図書館実現めざす市民運動で大きな役割を果たした。この旨をパネルで展示している。

閉架書庫にある
現在の遠藤文庫



左
一般書架奥にある遠藤文庫
と展示パネル、書籍の一部

「吾亦紅」 阪野光子著（文芸社刊）

落合文子（友の会会員）



ある日、気分転換に駅南図書館に立ち寄った。書架の間をゆっくりと背表紙を見ながら、自分だけの時間を楽しんだ。そこは、自分一人だけの空間のような気がした。まさに“図書館浴”。とても心地良かった。

ふと眼にとまったのが、白い背表紙にえんじ色の文字「吾亦紅」。病に倒れたご主人を11年余り介護し、看取った著者が執筆した本。自然を見つめ語りかける彼女の素直な気持ちが表現されていて、すーっと私の心に入ってきた。図書館をあとにする頃には心が軽くなっていた。

図書館を、まだ利用されていないあなた、きっと思いがけないような本との出会いがあるかもしれません。一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

伝えよう図書館の力 広げよう新たな可能性

■ 第22回 静岡県図書館大会のご案内 ■

《広く図書館に関心を持っている皆さん！ 図書館の力や新たな可能性について学び合い、交流を深めましょう》

◆日時／2014年12月8日（月） 9:45～13:45

◆会場／グランシップ（JR東静岡駅隣接）

◆日程／・9:45 開会・表彰式・情勢報告

・10:50～12:30 ライトトーク

「本とひと」を結ぶためにできること？

～本と出会うためのヒントをあなたへ～

幅 允孝氏 BACH代表 プラゲイルター

野尻 真氏 静岡書店大賞前事務局長

船田 彰氏 川崎市教委 川崎立宮前図書館

・12:30～13:45 昼食休憩・諸連絡

・13:45～15:45 分科会

◆参加費／無料（どなたでも参加できます。）

◆申込期限／2014年11月6日（木）

◆分科会

1. 図書館サービス
Webから図書館の可能性を拓く
2. 児童に対するサービス
小学生への読み聞かせ
3. 子どもと読書
武田美穂ワールドへようこそ
4. 図書館とエバーサフデザイン
5. 読書活動 読書が育む脳
6. 学校図書館
7. 大学図書館

◆申込方法等問合せ先

静岡県立中央図書館企画振興課
電話 054-262-1246

同館のHPから申込用紙が
ダウンロードできます。

友の会からお願い

いつも会の活動へご支援・ご協力頂き感謝申し上げます。会報は、会員の半数以上の方へ運営委員による手渡し配布をしています。若干の日にちを要します。ご理解をお願いします。また、会費2年超未納の方へは送付を取り止めています。ご了承ください。引き続き会員を募集しています。お知り合いの方など、ご紹介ください。案内を送付します。

編集後記 前号で、夏の発行を約束しながら秋になってしまいました。

藤枝市発行「図書館業務概要」平成25年版が手元にあります。

貸出冊数は対前年度比102.1%、実利用者数も前年比122.7%と、図書館活動の基本的指標がいずれも前進。職員各位の努力に敬意を表します。（h,k）

藤枝・図書館友の会ニュース第20号

2014年9月発行

メールアドレス <http://tosyokantomonokai.web.fc2.com>

ホームページ「藤枝図書館友の会」で検索してください。

<連絡先> 〒426-0044 藤枝市大東町 304-3・桑原英實

電話・FAX 054-635-0122